

BASSO CONTINUO 鈴木優人
SERIES ナミツ
コンティヌオ

4

ジョルディ・サヴァール & エスペリオンXXI

ルネサンス&バロックのダンスと変奏 ~旧大陸、そして新大陸から~

古楽界の至宝サヴァール、
四〇〇年前のいにしえの世界へ誘う

2023 10.29 (日)

15:00開演(14:15開場)

青山音楽記念館
バロックザール

Jordi Savall & HESPÈRION XXI

出演

ジョルディ・サヴァール
(ヴィオラ・ダ・ガンバ&ディレクション)

シャビエル・ディアス=ラトレ
(ビウエラ&バロックギター)

アンドルー・ローレンス=キング
(スペイン式バロックハープ)

ダビド・マヨラル
(打楽器)



©Sara Guastevis



©ALK



©Pablo F. Juárez

入場料 一般5,000円(全指定席・税込)

※当日券が販売される場合に限り、学生証の提示により1,500円で入場できます。

チケット発売:7月1日(土)10:00より

※チケット発売初日はバロックザール・オンラインチケットのみ取り扱います。

※翌日以降に残席がある場合は窓口販売あり。

※本公演はお電話での取り扱いがございませんので予めご了承ください。

チケット購入方法

バロックザール・オンラインチケットにて販売

※オンライン購入には会員登録が必要です。



お問い合わせ 青山音楽記念館 バロックザール

Tel.075-393-0011受付=9:30~18:00(月・火/休館)

夏期休館:2023.8/12(土)~8/18日(金)

主催 公益財団法人青山音楽財団

後援 カタルーニャ州政府文化庁、ラモン・リュイ研究所、駐日スペイン大使館、
インスティトゥト・セルバンテス東京



※やむを得ない事情により、曲目等が変更になる場合がございます。※未就学児のご入場はご遠慮ください。

※一度のお申込みにつき購入いただけるチケット枚数は4枚までとさせていただきます。

※お買い求めいただいたチケットのキャンセル・変更等はいたしかねます。予めご了承ください。

※会場での録音・録画・写真撮影は固くお断りします。※当公演のチケットは「特定興行入場券」です。定価を超える金額での転売は禁止されています。

※バロックザールのWEBサイトをご確認の上、感染症予防対策にご協力ください。

A
AOYAMA
MUSIC FOUNDATION
KYOTO, SINCE 1990

バロックザールの“バッソ・コンティヌオ”シリーズから、特別な招待をお届けします。私たちはスペインの古楽の巨匠、ジョルディ・サヴァールを京都へと迎え入れます。彼の名を冠するこの公演は、シリーズの中でも特別な存在となります。

サヴァールの演奏するエキサイティングな曲目は、きっとあなたを踊りへと誘うことでしょう。魂を揺さぶる彼の音楽に身を委ねれば、時間と空間を超えた旅に出かけることができます。

そして、何よりも特筆すべきは、スペインに足を運ばなくても、我々がサヴァールの芸術を間近で体験できるという奇跡です。彼が京都の舞台に立つという夢のような出来事を、ぜひともお見逃しなく。サヴァールと共に、音楽の力で世界を旅しましょう。

“バッソ・コンティヌオ”シリーズ企画監修 鈴木優人

ルネサンス&バロックのダンスと変奏

～旧大陸、そして新大陸から～

ルイス・デ・ミラン

ファンタジアおよび舞曲集「エル・マエストロ」(1536年パレンシア刊)

ファンタジア第8番～ファンタジア第38番～

パバーナ第1番～ガリャルダ第4番

トバイアス・ヒューム(1569頃～1645)

音楽によるユーモア(1605年ロンドン刊)

ヒューム大尉のパヴァーン～ガリアード

たったひとりで行軍する兵士

(無伴奏バス・ガンバ)

カタルーニャに伝わる民衆音楽

作者不詳(カタルーニャ地方)/ジョルディ・サヴァール編

アメリカの遺言

糸を紡ぐ女

フランセスク・ゲラウ(1649～1717)

音楽で綴った詩(1694年マドリッド刊)

エスパニョレータとフォリア

(バロックギター)

ムーサたちの涙(1604年ロンドン刊)

ジョン・ダウランド(1563～1626): [パヴァーン] いにしへの涙

アントニー・ホルボーン(1545～1602): [ガリアード] ムーサたちの涙

アントニー・ホルボーン: [ガリアード] 妖精の円舞

スペインの様々な舞曲と変奏曲

アントニオ・デ・カベソン(1510～1566): パバーナと変奏(フォリア)

ジュアン・カバニリエス(またはファン・カバニリエス 1644～1712): 序曲～イタリアのコルレンテ

フランスに伝わったスペインのフォリア

マラン・マレ(1656～1728): フォリアによる変奏(『ヴィオルク曲集第2巻』1701年パリ刊より)

新しい記譜法による曲集(1557年アルカラ・デ・エナレス[マドリッド近郊]刊)

ルイス・ベネガス・デエネストローサ(1510頃～1570): カベソンのファンタジア

スペインの調べ(1614)

アンリル・バイイ(1580年代頃～1637): パサカーリエ「わたしは狂気」(器楽による演奏)

(スペイン式バロックハーブ)

新大陸に伝わったスコットランドのバグパイプ

摂政殿のラント～モイラの君主～ホーンパイプ

(リラ・ヴァイオリン式に弾くヴィオラ・ダ・ガンバ)

サンティアゴ・デ・ムルシア(1673～1739)

サルディバル写本(1720年頃、メキシコ)より

ガリシアのフォリア～イタリアのフォリア～

舞曲「狂気の蜜」

■ ジョルディ・サヴァール(ヴィオラ・ダ・ガンバ&ディレクション)

Jordi Savall / Viola da gamba & Direction

50年以上にわたって活躍してきた極めて多才な音楽家。無視され忘れ去られた数々の音楽を救い出し無数の人々に伝えてきた。古楽のあくなき探求者であり、ヴィオール奏者として、また指揮者として演奏を続けている。演奏家、教師、研究者。新たなプロジェクトのクリエイターとしてのその業績は計り知れない。公私ともにパートナーであった故モントセラート・フィゲラスとともにエスペリオンXX(1974年、現エスペリオンXXI)、ラ・カベラ・レイアル・デ・カタルーニャ(1987年)、ル・コンセル・デ・ナシオン(1989年)を設立し、世界中の数えきれぬ古楽ファンと感動と美の世界を共有、探求、そして創造してきた。年間140回もの多忙なコンサート、そして1998年にモンセラート・フィゲラスとともに設立した自身のレコード会社「アリア・ヴォックス」などの活動を通じ、古楽がエリート主義ではなくあらゆる年齢の多数の聴衆にアピールすることを証明してみせた。評論家アラン・コズインはサヴァールの膨大なコンサートとレコーディングに関して2005年ニューヨークタイムズ誌に「単なるリバイバルではなく想像力に満ちた再生」と書いた。合計230枚以上ものディスクをリリースし、フランス・ミデム賞、国際クラシック音楽賞、グラミー賞などの賞を多数受賞してきた。2008年、異文化間の対話のための欧州連合大使に、またユネスコ親善大使「平和のためのアーティスト」に任命された。その活動により音楽界のノーベル賞といわれるレオニー・ソニング賞を受賞するなど国内外より高い評価を受けている。

■ シャビエル・ディアス=ラトレ(ビウエラ&バロックギター)

Xavier Díaz-Latorre / Vihuela & Guitar

1968年バルセロナ生まれ。バーゼル音楽大学でオスカー・ギリアに師事し卒業。その後、古楽に興味を持ちバーゼル・スコラ・カントルムにてホプキンソン・スミスにリユートを師事する。1995年から2005年までバロック・オペラの世界に積極的に参加し、ベルリン古楽アカデミーによるヘンデル《セメレ》に参加。またコンチェルト・ヴォカレのモンテヴェルディ《オルフェオ》にはゴールドーニ劇場、モネ劇場、コヴェントガーデン、グラン・テアトル、シャンゼリゼ劇場、ブルックリン・アカデミー・オブ・ミュージックにて、またサヴァール指揮コンセル・ナシオンの《オルフェオ》にてテアトロリアル、リセウ大劇場にて参加。声楽と器楽から成る自らのアンサンブルLaberintos Ingeniososを率いており、スペイン黄金時代の音楽を集中的に演奏しCDもリリース。国際的に高い評価を得ている。

■ アンドルー・ローレンス=キング(スペイン式バロックハーブ)

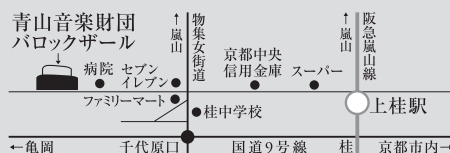
Andrew Lawrence-King / Baroque Harpa

チャンネル諸島ガーンジー生まれ、エストニアのタリン在住。バロック・オペラ、オーケストラ、あるいはアンサンブルの監督を務めるほかコンティヌオ奏者、バロックハーブ奏者、作曲家として幅広く活躍している音楽家であり、学者でもある。トラバーチ、リバヤス、ヘンデル、オキヤロランなど失われたイタリア、スペイン、アングロ・ウェールズ、アイリッシュ・バロックハーブの再発見に貢献した。トラジコメディアの共働創設者であり、ザ・ハーブ・コンソートの音楽監督として、即興演奏やコンティヌオ演奏に革命をもたらした。ヘンデルの《オルランド》(2019年)の演出は、ロシアのオネーギン賞を受賞。ヘンデル《アルミーラ》の録音ではアメリカのヘンデル協会賞を受賞。またオルガン協奏曲のソリスト、チェンバロ、ハーブ奏者としてドイツのエコー賞を受賞し、中世音楽の指揮者としてオランダのエジソン賞を受賞するなど数々の賞を受賞している。

■ ダビド・マヨラル(打楽器)

David Mayoral / Percussion

エベ・オネステイおよびオラシオ・イカストのもとで音楽を学び始める。フアン・ホ・ギエムに師事し打楽器の世界に入るも、やがて歴史的打楽器に興味を持つようになりベドロ・エステバンに師事する。またショクリ・モハメドとサラ・サバフからアラビアの打楽器を学び、グレン・ペレズ(フールドラムとレク)、ケイヴァン・シェミラニ(ザルブ)、ベジマン・ハッダディ(ザルブとタグ)のクラス、マスターコースなども受講。インシャイ・アフターマン(フールドラム)、イスマイル・アルトウンバシュ(グラブッカ)のもとでも学んでいる。中世、ルネサンス、バロック音楽を専門とするエスペリオンXXI、ラルベツジャータほかのアンサンブルと共にカーネギーホール、アリス・タリーホール、フェズ世界宗教音楽祭、ペイルートのセルバンテス・インスティテュート、カイロ・オペラハウス、エルサレムのワード音楽祭またシリアやチュニジア、クウェート、キューバ、ブラジルなどで演奏している。



阪急電車嵐山線「上桂」駅下車西へ300メートル
ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

バロックザール
Barocksaal
京都 青山音楽記念館

お問い合わせ: tel. 075-393-0011 9:30~18:00 月・火 休館
〒615-8282 京都市西京区松尾大町9-1 <https://barocksaal.com/>